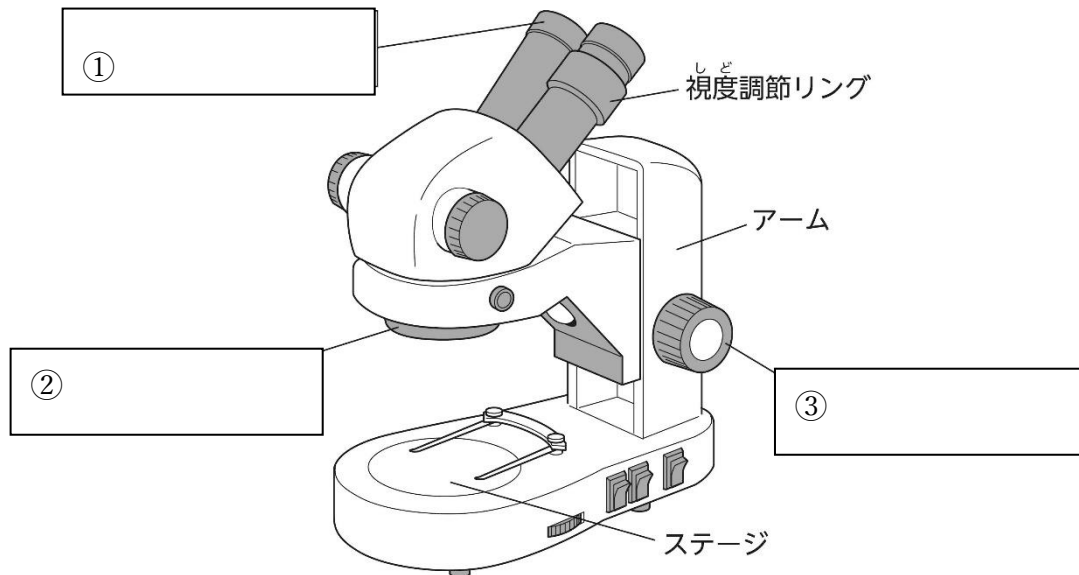


今度は「かいぼう顕微鏡」を学習しましょう。教科書 P 201 を見ながら()に入る言葉をノートに書きましょう。



そう眼実体顕微鏡は、^{め じったいけんびきょう}厚みのあるものを立体的に観察するときを使うといいです。

使い方

1 見るものを(④)の上に置く。(⑤)のはばをおおよそ目のはばに合わせ、両目で見ると見えているものが 1 つに重なるようにはばを調節する。

2 右目でのぞきながら(⑥)を回して、はっきり見えるように調節する。

左目でのぞきながら^{し どちょうせつ}視度調節リングを回してはっきり見えるように調節する。

3 観察したい部分が、(⑦)の真下にくるようにして観察する。

☆教科書 P 201 の下段にある「^{かい けんびきょう}解ぼう顕微鏡」は接眼レンズだけなので倍率は高くないですが、簡単に小さなものを大きくして見ることができ^{けんびきょう}る顕微鏡です。直接、日光の当たらない明るい場所で使います。